

多摩市立図書館本館再整備  
基本・実施設計業務委託に係るプロポーザル  
審査結果報告書

東京都多摩市

# 多摩市立図書館本館再整備基本・実施設計業務委託に係るプロポーザル審査結果報告書

## 審査結果

多摩市立図書館本館再整備基本・実施設計業務委託の受託候補者の選定を、公募型プロポーザル方式により行った。提案書の提出のあった16者について、第一次審査において書類審査を行い、5者に絞り込み、5者による第二次審査を行った結果、

最適受託候補者を

株式会社 佐藤総合計画

次席者を

株式会社 榎総合計画事務所

として選定した。

多摩市立図書館本館再整備基本・実施設計  
業務委託プロポーザル審査委員会  
会長 上野 淳

---

## 多摩市立図書館本館再整備基本・実施設計業務委託プロポーザル審査委員会

会 長	上野 淳	首都大学東京学長
職務代理者	大原 一興	横浜国立大学大学院教授
委 員	常世田 良	立命館大学文学部教授
委 員	祐乗坊 進	東京農業大学客員教授
委 員	佐藤 稔	多摩市 施設政策担当部長
委 員	須田 雄次郎	多摩市 教育部長
委 員	戸田 義次	多摩市 企画政策部施設保全課長
委 員	澤井 貴之	多摩市 企画政策部特定施設担当課長
委 員	横倉 妙子	多摩市 教育部図書館長

事 務 局 教育部図書館

---

## 審査委員会等経過

1. 平成30年9月24日（月）：第1回 審査委員会
  - (1) 時間：10時から12時
  - (2) 場所：市役所第二庁舎会議室
  - (3) 議事等
    - ① 会長の選任及び職務代理者の指名
    - ② 本件プロポーザルに係る実施要領、評価基準、審査方法について審議し、決定した。
  
2. 平成30年10月9日（火）：公募開始  
本件プロポーザルに係る募集要項等の関係資料をホームページに掲載し、公募を開始した。
  
3. 平成30年10月24日（水）～26日（金）：参加表明書提出期間  
期間内に19者から参加表明書の提出があった。
  
4. 平成30年10月29日（月）～11月9日（金）：本件プロポーザルに係る質問受付・回答期間  
期間内に12者から74件の質問を受け付け、回答した。
  
5. 平成30年12月10日（月）：提案書の受付  
参加表明のあった19者のうち、16者から提案書の提出があり、3者は辞退した。
  
6. 平成30年12月24日（月）：第2回 審査委員会
  - (1) 時間：14時から15時30分
  - (2) 場所：市役所第二庁舎会議室
  - (3) 議事等
    - ① 第一次審査について  
16者の提案書の書類審査を行い、評価点の高い上位5者を一次審査通過者とした。
    - ② 第二次審査の評価及び実施方法について審議し、決定した。
  
7. 平成31年1月14日（月）：第3回 審査委員会
  - (1) 時間：13時から18時30分
  - (2) 場所：市役所第二庁舎会議室
  - (3) 議事等：第二次審査  
一次審査通過者5者から提案内容のプレゼンテーションを受けた後、ヒアリングを行い、審査の結果、最適受託候補者及び次席者を各1者選定した。

---

## 審査総評

### 1 第一次審査

第一次審査は、提案書の書類審査である。

提案書の構成・評価項目と評価点の配点は、「企画提案：68点」、「組織の実力：20点」、「担当チームの能力：12点」となっており、「企画提案」部分の評価を特に重視している。企画提案の内容としては、「多摩市立図書館本館再構築基本構想」や「多摩市立図書館本館再整備基本計画」をもとに、「知の地域創造」まちにひろく・つながる図書館の観点と、限られた面積等の中でこれからの図書館に求められる機能や空間、コストや環境への配慮、市民意見を反映していく設計業務の進め方などを課題とした。

16者から提出された提案書を審査委員に配布し、「企画提案」部分の評価した。なお、審査委員に配布した提案書は、審査の公正を期すため、提案者が特定できないように提案者名や主任技術者名等の一切を伏せたものである。

「組織の実力」及び「担当チームの能力」は、事務局で集計した。但し、「組織の実力」のうち、「設計業務実績」と「受賞実績」については、建築専門審査委員の上野会長と大原委員の評価によるものである。

平成30年12月24日の第2回審査委員会では、これらの集計結果をもとに審議した。募集要項では「上位数者（3者から5者程度）を選定する」としている。1位と2位にやや点差があるものの、2位から5位までの評価点が僅差であること、5位と6位の点差が大きいこと等から、上位5者を第一次審査通過者として選定した。

### 2 第二次審査

第二次審査は、第一次審査通過者5者による提案のプレゼンテーションに対して、ヒアリングを実施した。この際、第一次審査の得点は考慮せず、プレゼンテーション及びヒアリングの内容により、提案の的確性・実効性や取組意欲などを総合的に判断し、採点のうえ、最適受託候補者及び次席者の各1者を選定した。

審査の時間配分は、1者あたり45分以内とした。内訳は、準備・撤収が5分以内、プレゼンテーションが10分以内、ヒアリングが30分以内というもので、本件業務委託を遂行するにふさわしい設計者の資質を見極めること等を目的に十分なヒアリング時間を確保した。

審査委員からは、様々な観点で質問が出され、提案者の説明を求めた。建築の観点からは、空間としてのアピールポイントやその実現性、構造に関することなどについて、図書館の機能の観点からは、これからの図書館として専門的なサービスを展開できる空間的な工夫や、職員の動線や物流などが意識されているかどうかについての質疑があった。公園との関係では、公園の景観への寄与や、既存樹木の取り扱いについての質問もあった。また、市民が設計や建設に参画するための手法や、省エネルギーや自然エネルギー活用への具体的な取組み姿勢、複数案への柔軟な対応、長寿命建築などコスト面での考え方などが問われた。

全てのヒアリング終了後、審査委員会において、各審査委員の評価を意見交換し、評価の観点などについて相互理解を図った。意見交換後、各審査委員は評価を確定し、事務局で採点を集計した。集計結果から最適受託候補者及び次席者を各1者選定し、審査委員会として承認した。

## 第二次審査講評

No.	講評
1	<p>【次席者】</p> <p>中央公園の緑の景観に沿ったおおらかな大屋根のデザイン、中央公園とレンガ坂を繋ぐ24時間通り抜け可能なパッサージュ、などを特徴とした提案で、各機能を配置する平面計画も的確にまとめられており、一定の評価を受けた。一方、新しい図書館のあり方についての提案性が希薄との見解もあり、次席となった。</p>
2	<p>“歩いて楽しいワンフロア・ライブラリー”、“まちと公園を繋ぐパッサージュ”、などを特徴とする生き生きとした提案は評価され、プレゼンターの意欲的な姿勢も好感された。一方、機能配置の提案内容などに対し中央図書館の目指している機能から見た疑念も示され、最終的に多くの委員の支持を集めるには至らなかった。</p>
3	<p>【最適受託候補者】</p> <p>中央公園の景観に沿った質の高いデザイン、各機能の平面配置計画の的確さ、公園とレンガ坂を繋ぐおおらかな“ステッププラザ”の考え方、などが評価された。基本計画に対する理解度が高い点に加え、レファレンス・カウンターの分散配置など課題解決型図書館のあり方に対する提案的姿勢も委員の支持を受け、最適受託候補者となった。</p>
4	<p>的確にまとめられた機能配置計画、公園側からの景観を意識した外観デザインなど、堅実な提案内容は一定程度評価された。一方、新しい図書館のあり方に対する提案性やデザインの・空間的魅力を感じさせる要素に乏しい、などの指摘も多かった。</p>
5	<p>基本計画が求める要求条件は満たし、的確な提案がなされているが、これからの新しい図書館のあり方に関する提案性が希薄で公園との空間的繋がりなどについてのデザイン面における魅力に乏しい、などの指摘もあった。</p>

※ 「No.」は、審査の順番